

30年ぶりの大公開

穎川美術館の名品

名碗「無一物」全期間展示

2016年
4月5日火
— 5月15日日



渋谷区立
松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL 03-3465-9421
<http://shoto-museum.jp>

林 汗



④



①



③

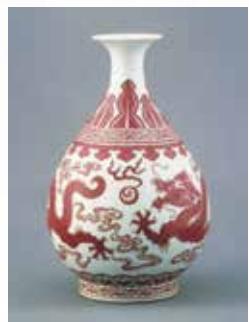
- ◎開館時間 〇午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
※金曜日は午後7時閉館（入館は午後6時30分まで）
- ◎後期 2016年4月26日〔火〕～5月15日〔日〕
- ※会期中、一部展示替えがあります。
- ◎入館料 〇一般：500（400）円・大学生：400（320）円・
高校生：250（200）円・小中学生：100（80）円・
60歳以上の方：250（200）円
※（ ）内は10名以上の団体割引料金
- 〇特別協力 公益財團法人穎川美術館
- 〇講演会 〇4月17日〔日〕午後2時
「穎川美術館の茶道具」
- 〇休館日 〇4月11日〔月〕・18日〔月〕・25日〔月〕、5月9日〔月〕
- 〇主催 渋谷区立松濤美術館

「穎川美術館の茶道具」
林屋晴三氏 公益財團法人穎川美術館 理事長
事前予約の必要はありません

図版 ① 楊柳芭蕉 黒跡 漢洋 ② 赤堀秀義 無物 長次郎作 中興名物（重要文化財）

③

④



【主な出陳作品】

- ① ○「阿弥陀曼陀羅図」(平安～鎌倉時代) 後期陳列
- ② ○「臘脂紅龍文瓶」(雍正年間)
- ③ ○「芦屋松林図金」大名物(鎌倉時代)
- ④ ○伝能阿弥「三保松原図」(室町時代) 前期陳列
- ⑤ ○長沢蘆雪「月夜山水図」(江戸時代) 前期陳列
- ⑥ 伝牧谿「羅漢図」(南宋時代) 後期陳列

○は重要文化財、○は重要美術品を示す。

長次郎赤楽茶碗の代表作で松平不昧所持の中興名物として知られる名碗「無一物」(重要文化財)、織田信長所持で本能寺の変の災からからくも逃れたと伝えられる大名物肩衝茶入「勢高」(重要美術品)などの茶道具の名品、そして、近世後期の文人趣味の元で流行した煎茶具や文房具、大雅・円山応挙・谷文晁などの近世絵画の収集で知られています。

本展では、「無一物」をはじめとする、穂川美術館所蔵の名品二三五点を陳列いたします。穂川美術館の名品が東京で公開されるのは一九八四年以来のことになります。本展を通して、茶の美、近世の文人趣味の一端をうかがうとともに、室町から近世にかけての日本絵画の流れを通観できることだと思います。

30年ぶりの大公開 穂川美術館の名品 名碗「無一物」全期間展示

穂川美術館は、江戸時代から廻船業、山林業をいとなみ、長崎や上方文化の発展に寄与した大阪の商家穂川家の四代目穂川徳助(一八九九～一九七六)が設立しました。穂川徳助は家業を継ぐ中で歴代家蔵の美術品を通して審美眼を養いましたが、伝来の名品は戦災により灰燼に帰してしまいました。戦後、家業の復興に尽力するかたわら、美術品の収集に努め、美術品は本来個人に属すべきものではないとして、一九七三年に兵庫県西宮市に美術館を開館しました。

穂川美術館は、江戸時代から廻船業、山林業をいとなみ、長崎や上方文化の発展に寄与した大阪の商家穂川家の四代目穂川徳助(一八九九～一九七六)が設立しました。穂川徳助は家業を継ぐ中で歴代家蔵の美術品を通して審美眼を養いましたが、伝来の名品は戦災により灰燼に帰してしまいました。戦後、家業の復興に尽力するかたわら、美術品の収集に努め、美術品は本来個人に属すべきものではないとして、一九七三年に兵庫県西宮市に美術館を開館しました。

穂川美術館は、江戸時代から廻船業、山林業をいとなみ、長崎や上方文化の発展に寄与した大阪の商家穂川家の四代目穂川徳助(一八九九～一九七六)が設立しました。穂川徳助は家業を継ぐ中で歴代家蔵の美術品を通して審美眼を養いましたが、伝来の名品は戦災により灰燼に帰してしまいました。戦後、家業の復興に尽力するかたわら、美術品の収集に努め、美術品は本来個人に属すべきものではないとして、一九七三年に兵庫県西宮市に美術館を開館しました。

穂川美術館は、江戸時代から廻船業、山林業をいとなみ、長崎や上方文化の発展に寄与した大阪の商家穂川家の四代目穂川徳助(一八九九～一九七六)が設立しました。穂川徳助は家業を継ぐ中で歴代家蔵の美術品を通して審美眼を養いましたが、伝来の名品は戦災により灰燼に帰してしまいました。戦後、家業の復興に尽力するかたわら、美術品の収集に努め、美術品は本来個人に属すべきものではないとして、一九七三年に兵庫県西宮市に美術館を開館しました。

◎呈茶会

4月17日[日] 午後2時
穂川美術館の茶道具
林屋晴二氏(公益財團法人穂川美術館理事長)
＊特別呈茶会ともに参加費は無料(要入館料)
＊直接、地下2階ホールへお越しください。

◎特別呈茶会

*詳細は美術館HPでご確認ください。
＊特別呈茶会、呈茶会ともに参加費は無料(要入館料)
＊要入館料 *事前予約の必要はありません。

①特別呈茶会
(亭主・林屋晴三氏・協力・渋谷区茶道連盟)
4月24日[日](午後1時～)/午後3時～
定員・各回 20名
＊立札による茶会です。
＊往復はがきでお申し込みください。
応募者多数の場合は抽選となります。

②呈茶会(裏千家柴田宗知社中)
4月1日[日]、3日[火・祝]、5日[木・祝]
時間・午後1時～/午後3時～
定員・各回 20名
＊要入館料 *事前予約の必要はありません。

*立札による茶会です。 *当日、整理券を配布します。

③当館学芸員によるギャラリートーク
4月23日[土]、4月29日[金]
5月6日[金] 午後2時～
＊要入館料 *事前予約の必要はありません。

◎次回展のご案内

中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ
5月31日[火]～7月10日[日]



〔交通案内〕

JR・メトロ渋谷駅下車徒歩15分・
京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分